

猛暑の毎日です。暑中お見舞い申し上げます。当事務所のお盆休みは、8/11(祝)~8/15(火)までの5日間です。ご迷惑をおかけ致しますが、ご理解のほどよろしくお願い致します。



「昨年10/1に東京支店の専技(建設業許可の2本柱の一つで専任技術者のこと)が退職。その変更届を2週間以内に国交省関東地方整備局(全国の国交大臣許可業者の42%を管轄)に届け出るのをすっかり忘れていた…」と東京に営業本部もある大臣許可のA社から連絡がありました。10か月もの間、専技を欠く状況で建設業を営んでいた事になり建設業法上は①許可の取消しだけでなく②3年以下の懲役又は

300万円以下の罰金に処せられる厳しい事案です。毎年提出する11条変更届(決算報告)の時に判明。A社は東京本部を除いて全国に6つの支店がある老舗の建設会社。相談を受けた当事務所では昨年10/1時点で他に替われる専技(10年以上の実務経験者)はいたのか? またその経験を裏付ける書類は残っているのか?…といった事を確認し急いで関東地方整備局に変更届を提出。始末書付きにはなったものの結果として、大事には至らずに済みました。⑤(渡邊あい)

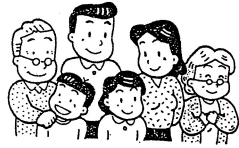
専技欠いて10か月営業大臣許可業者変更届で無事解決



「強制的な健保証を任意のマイナンバーカードと無理矢理一体化しようとした所に大きな問題がある…」と推進派のITジャーナリストの三上洋氏は解説します(7/11NHK・R1)。3年前に始まった最大2万円を付与するマイナポイント事業によって現在国民の8割近くに普及したと言われますが今年の5月以降①住民票の誤交付②公金受取口座が別人に登録③ポイントが別人に付与…と次々発生。カードの自主返納まで続出。河野太郎デジタル相は「この制度は

民主党政権が作った…『おまえが始めたんだろ』…」と責任を他に転嫁してみたり「マイナ制度とそのカードが混乱…マイナカードという名前はやめた方がいい…」と持論を展開したり。来年秋には「現行の健保証を廃止してマイナ保険証に一体化する」と突然表明。しかし医療現場ではマイナ保険証をかざすと「無保険扱い…支払いは10割で…」と表示される例も…。『便利さの裏にはリスクあり』です。ね。(社労士・渡邊)

マイナカードと健保証を合体 国の強引さ 大混乱の原因か…



当事務所では毎週金曜日の朝 9~10 時にミーティングを行います。ご協力をお願いします。また業務時間は平日の9時から17時半までですが、お昼の1時間は職員の休憩のため、事務所の玄関は施錠します。この時間にご来所される予定の方は、事前にご連絡下さい。